

フォトダイオードディテクタの付属品

Photodiode Detector Accessories



- 818シリーズ、918シリーズ、および918 Dシリーズのディテクタの使用性を強化します
- 1"のフリースペースおよびファイバオプティクスアダプタ

フォトダイオードディテクタ用のアダプタを使用することで、ベアファイバと各種ファイバコネクタ、およびフィルタとレンズ等の1"の光学部品を用いて色々な、光パワー測定が可能となります。Newportは、これらのアダプタがディテクタに実装された状態では校正をいたしません。各製品の写真については、製品詳細をご参照してください。次に示すフォトダイオードディテクタと互換性がありますのでP160、165を参照してください。

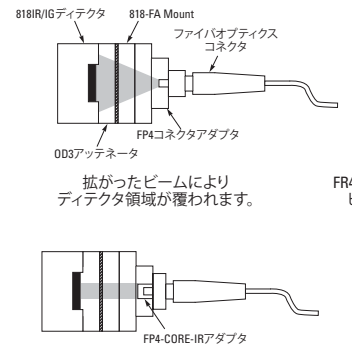
883-OHは1"用光学アダプタで、Newportのフォトダイオードディテクタパッケージにとって最も安定したマウント手段になります。最高0.35"までの厚みであれば、どのようなフィルタやレンズにも対応できます。NewportのA-125-1RR保持リングは付属品です。予備として、別途ご注文頂けます。

FP3-FH1ベアファイバホルダは、損傷を与えることなく250 mmのベアファイバを保持することのできるファイバクランプです。このホルダは、818-FA2ベアファイバホルダマウントの中に差し込むことで、ディテクタ筐体の前端部に取り付けることができます。

FP3/FP4シリーズのコネクタアダプタは、SMA、ST、FC、SCおよびLCというご好評いただいているファイバオプティクスコネクタスタイルに対応します。アダプタは、2本のネジで818-FAファイバアダプタマウントに取り付けられ、ファイバオプティクスコネクタを容易に脱着可能にします。

測定の際、ファイバ内での損失が懸念される場合に、FP4-COREアダプタをお勧めしております。フォトダイオード側の端をARコーティングする一方で、ファイバ先端とアダプタウィンドウの間には、屈折率マッチングリキッドを塗布することができます。その有効面積が比較的小さく、ゲルマニウムディテクタやInGaAsディテクタを使われる際は、FP4-CORE-IRの使用をお勧めしております。FP4-CORE-IRは、ファイバ先端から射出する光を平行にし、GRINレンズを用いてディテクタ内にはみ出る事なく照射されます。コーティングは1,000-1,550 nmに最適化されています。

FP4-CORE-VIS/NIRアダプタコアにはコリメート光学系は含まれていないので、大面積ディテクタ(818-UV、818-SL)用として使用してください。FP4-COREシリーズのモジュール構成は、多様なFP4シリーズのファイバコネクタアダプタに迅速に交換できます。FP 4コアは、FP3-SMAコネクタアダプタには使用できません。



R4-CORE-IRは、OD3アッテネータを使用した場合にもビームを小面積ディテクタ上でコリメートします。

発注のご案内

モデル	内容
818-FA2	フォトダイオードディテクタ用ベアファイバホルダマウント
FP3-FH1	フォトダイオードディテクタ用ベアファイバホルダ (818-FA2と使用)
818-FA	フォトダイオードディテクタ用ファイバアダプタマウント
FP3-SMA	SMAコネクタアダプタ、818-FAファイバアダプタマウント (FP4-CORE-XXXと互換性なし)
FP4-ST	STコネクタアダプタ、818-FAファイバアダプタマウント
FP4-LC	LCコネクタアダプタ、818-FAファイバアダプタマウント
FP4-FC	FCコネクタアダプタ、818-FAファイバアダプタマウント
FP4-SC	SCコネクタアダプタ、818FAファイバアダプタマウント
FP4-CORE-VIS	アダプタコア、430 ~ 700 nm ARコーティング済み、フォトダイオードディテクタ
FP4-CORE-NIR	アダプタコア、650 ~ 1,000 nm ARコーティング済み、フォトダイオードディテクタ
FP4-CORE-IR	レンズ性アダプタコア、1,000 ~ 1,550 nm ARコーティング済み、フォトダイオードディテクタ
883-OH	フォトダイオードディテクタ用1インチオプティクスホルダ

光パワー& エネルギーメータ

光学ディテクタ

汎用ディテクタ

ハイスピードディテクタ& レンズ

光モジュレータ/光学チョップ

ビームプロファイラ

ビームポジションディテクタ

ディテクションエレメントロニクス

オートバランスディテクタ

テクニカルノート